

PRsj NEWS

2023年11月号 No.356



PRsjひとり広報 MEET UPの様子。開催レポートは11Pに掲載。

TOPICS

MESSAGE

パブリックリレーションズの時代が到来した！

PRsj 副理事長 鈴木 孝徳

P3

11月入会の皆様のご紹介

P4

ATTENTION

『広報・マスコミハンドブック(PR手帳)2024』を刊行

P6

BULLETIN

PRsj“ひとり広報”MEET UP 開催報告

P11



公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会
発行人：理事長 牧口 征弘

目次

11月～12月スケジュール		P1
MESSAGE(メッセージ)	パブリックリレーションズの時代が到来した！	P3
ATTENTION(お知らせ)	11月入会の皆様のご紹介	P4
〃	関西事務所移転のお知らせ	P5
〃	『広報・マスコミハンドブック（PR手帳）2024』を刊行	P6
〃	第35回1次試験12月1日（金）から申込み開始	P7
〃	「PR集中テーマスタディ（第2回）」を11月下旬に開講	P8
〃	「パブリックリレーションズ中堅実務者講座」オンデマンドで開講	P9
〃	「PRプランナー3次試験対策講座」に新コンテンツを11月下旬に追加	P10
BULLETIN(活動報告)	PRSJ“ひとり広報”MEET UP 開催報告	P11
〃	第29回広報活動研究会開催報告（会員限定）	P14
〃	第50回「PRスキル研究会」開催レポート（会員限定）	P14
〃	台湾PR協会がPRSJを訪問～情報交換と交流を実施	P15
REPORT（レポート）	第227回定例研究会開催報告（正会員・個人会員限定）	P16
PRSJ in MEDIA	協会掲載記事	P17
事務局だより		P18

11～12月 セミナー・イベント スケジュール

【オンデマンド視聴・通年開講】

パブリックリレーションズ入門 Web 講座 2023 講 師 : 東京都市大学 都市生活学部/大学院環境情報学研究科
准教授 北見幸一氏他、全9名

PR プランナー1 次試験対策講座 講 師 (株)井之上パブリックリレーションズ 横田和明氏他、全4名

PR プランナー2 次試験対策講座 講 師 三菱UFJフィナンシャル・グループ 飾森亜樹子氏他、全12名

PR プランナー3 次試験対策講座 講 師 (株)グッドバッチ 高野祐樹氏他、全4名

【オンデマンド視聴】

PR ケーススタディ 2023 <第 1 回>

日 時 : 7月18日(火)～2024年3月28日(木)

テーマ : 卓越したPRプロジェクトから成功のポイントを学ぶ

講 師 : 合同会社ユー・エス・ジェイ ブランドPR ディレクター 柳沢洋子氏
(株)ブラチナム グローバルコミュニケーション局 PRプランナー 小田切 萌氏
味の素冷凍食品(株) 戦略コミュニケーション部 PRグループ長 勝村敬太氏

【オンデマンド視聴】

PR ケーススタディ 2023 <第 2 回>

日 時 : 10月24日(火)～2024年3月28日(木)

テーマ : 社会課題の解決をめざすPRのチャレンジ

講 師 : (株)LIFULL クリエイティブ本部 PRグループ グループ長 遠山佳子氏、日
本イーライリー(株) コーポレート・アフェアーズ本部 広報・CSR・アドボカシー
担当課長 小宮山 幸氏

【オンデマンド視聴】

PR 集中テーマスタディ <第 1 回>

日 時 : 7月25日(火)～2024年7月31日(水)

テーマ : リスクコミュニケーション(危機管理広報)

講 師 : (株)電通PRコンサルティング エグゼクティブコンサルタント 松本 太氏、報道対
策アドバイザー 窪田順生氏、シエンプレ(株) WEBソリューション事業部 シニア
マネージャー 桑江 令氏

【オンデマンド視聴】

PR 集中テーマスタディ <第 2 回>

日 時 : 11月22日(水)～2024年11月22日(金)

テーマ : 戦略的コーポレートコミュニケーションの新展開

講 師 : (株)はね 代表取締役社長 矢嶋 聡氏、(株)クラウドワークス IR・PR室長
飯田真吾氏、(株)電通PRコンサルティング SE部部長 坂本陽亮氏

【会場開催】・【オンデマンド視聴】

第 228 回定例研究会

日 時 : 会場セミナー : 12月1日(金) 14:00～15:20

オンデマンド視聴 : 12月12日(火)～1月12日(金) <予定>

テーマ : 2024年におけるダイヤモンド編集部の新展開～浅島新編集長が創る「週刊ダ
イヤモンド」と「ダイヤモンド・オンライン」～

講 師 : (株)ダイヤモンド社 ダイヤモンド編集部 編集長 浅島亮子氏

会 場 : ビジョンセンター有楽町「302号室」

【会場・オンライン開催】

第 44 回 広報ゼミ

日 時 : 12月8日(金) 16:00～

テーマ : インターナルブランディング・インターナルコミュニケーションの最新事例～社員のエン
ゲージメントを高める社内広報・社内ブランディングとは？

講 師 : ヤマハ(株) コーポレート・コミュニケーション部 社内広報グループ 石部 卓氏、
エバラ食品工業(株) 執行役員 経営企画本部長 上岡典彦氏、広報室
堤つばめ氏

会 場 : LINEヤフー(株) 内 コラボレーションスペースLodge及び、Zoomミーティング

11月～12月の理事会・委員会・部会スケジュール

◇定例理事会	(11月度)	日時	: 11月9日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
	(12月度)	日時	: 12月14日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇教育委員会	(11月度)	日時	: 11月15日(水)	13:30～15:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
	(12月度)	日時	: 12月20日(水)	13:30～15:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇資格委員会	(11月度)	日時	: 11月22日(水)	14:00～15:30
		会場	: ハイブリッド開催	
◇国際・交流委員会	(11月度)	日時	: 11月2日(木)	16:30～17:30
		会場	: オンライン開催	
◇広報委員会	(11月度)	日時	: 11月22日(水)	16:30～17:30
		会場	: オンライン開催	
◇顕彰委員会	(11月度)	日時	: 11月22日(水)	14:00～15:00
		会場	: オンライン開催	
◇企業部会幹事会	(11月度)	日時	: 11月1日(水)	17:00～18:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇PR業部会幹事会	(11月度)	日時	: 11月21日(火)	16:00～17:00
		会場	: オンライン開催	

パブリックリレーションズの時代が到来した！



PRSJ 副理事長 鈴木 孝徳

(株)井之上パブリックリレーションズ 代表取締役社長兼COO

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（以下 PRSJ）の、副理事長および教育委員会委員長を拝命してから 3 年半程が経ちました。PRSJ の設立 40 周年に合わせた「2020 年 PRSJ 宣言」にあるように、パブリックリレーションズとは、倫理観と信頼感に基づいた様々なステークホルダーとの対話による良好な関係構築活動であると考えます。このパブリックリレーションズの力を活用することで、社会課題を解決し世界をより良い方向へ変えていきたいという考えのもと、会員の皆さんとともに協会活動を行っています。

PRSJ 宣言を受け策定された新中期計画では「パブリックリレーションズ・プロフェッショナル」の必要性を明示しています。教育委員会ではそれを実現するために、各種研修、セミナーなどの活動を通じ、パブリックリレーションズに関わる皆さんの日常業務のお役に立てるとともに、スキルアップのためのさまざまなプログラム実施に取り組んでいます。

昨今、私たちを取り巻く外部環境は、皆さんもご存じのように地球規模で大きく変化しています。温暖化による異常気象などの地球環境問題、そして世界経済では米中貿易摩擦の激化、そのなかでの新型コロナウイルスの感染拡大、さらに長期化するウクライナ戦争、新たな火種としてのイスラエル・ガザ地区での軍事衝突など世界はますます混迷と分断の度合いを深めていると思います。

また、テクノロジーの進化も目覚ましく代表例として、皆さんもご存じの Chat GPT に代表される生成 AI がインターネットの登場に匹敵するか、それ以上の変革を私たちの日常にもたらし大きなインパクトを与えています。パブリックリレーションズ業界も、デジタル化と生成 AI の一気の普及といった流れの中で大きな変革の時代を迎えているのは確かです。

外部環境の大きな変化の中で、私たちを取り巻く価値観も大きく変わっています。特に企業にとっては、本業を通じて社会課題を解決し、サステナブルな企業経営のために新しい企業価値の創出が求められています。新しい価値観の創造、持続可能性を追求するためにも、マルチステークホルダーとの良好な関係構築活動であるパブリックリレーションズ、そしてパブリックリレーションズ・プロフェッショナルが経営の中核に近いところで機能することが不可欠だと考えます。

多様なメディアを通じ財務情報だけでなく非財務情報も含めた企業情報を、国内だけでなくグローバルに発信することが企業規模の大小を問わず求められています。

このような変革の時代にこそ、冒頭に申し上げました本来の意味でのパブリックリレーションズの果たす役割は大きく、今まさにパブリックリレーションズの時代が到来したと感じています。

皆さんとともにパブリックリレーションズを通じ、よりよい社会の実現を目指し、これからも協会活動そしてパブリックリレーションズ活動に挑戦してまいります。

新規入会の会員（正会員）のみなさまの「自己紹介」ページです。今回は、11月にご入会いただきました正会員（掲載希望社）をご紹介します。

株式会社フロントステージ



みなさま、はじめまして。
東京・南青山本社の株式会社フロントステージと申します。
2016年創業で、現在15名ほどのメンバーです。
代表含め、メンバーのほとんどが女性のため、女性に向けたメッセージ発信のPRを得意としております。JALのLCC「ZIPAIR」や台湾発のドクターズコスメ「ドクターウー」といったtoC企業の他に、東証プライム上場の「ダブルスタンダード」の採用PR、建設現場の施工管理サービス「アンドパッド」といったtoB企業のPR支援を行なっております。
国内のPRの認知を上げ、優秀なPRパーソンを増やし、日本のPR業界を盛り上げる一翼を担えればと思っております。
諸先輩方に色々学ばせていただきたいと考えております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

株式会社 The Lodges



株式会社 The Lodges は2022年12月22日に神戸を拠点に設立されたサステイナブル・テック企業です。
当社は、「戦争を無くすために、事業にトライする」とのミッションに掲げ、SDGsに焦点を当てたテック・サービスを展開することを計画しております。
第一弾として、世の中に存在する企業・団体・研究機関のSDGsに関わる取り組みを一堂に集約し、網羅的に整理することを目指し、2023年10月31日にSDGs専門のプレスリリース配信サービス「SDGs PR Lodge」をリリース致しました。
会員の皆様の広報活動に貢献できるよう努めてまいりますため、どうぞ宜しくお願いします。

関西事務所移転のお知らせ

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
2023年12月1日から下記の住所へ事務所を移転いたしますのでご案内申し上げます。
今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【移転先住所】

〒530-0001 [大阪府大阪市北区梅田 1-12-12 東京建物梅田ビル 12 階](#)

TEL:050-4560-1526

アクセス

JR線「大阪」駅徒歩 3 分

地下鉄御堂筋線「梅田」駅徒歩 3 分

阪急各線「大阪梅田」駅徒歩 6 分



『広報・マスコミハンドブック(PR手帳)2024』を刊行

広報委員会

『PR手帳』は協会設立以来継続して発刊され、今年度で44回目を迎えます。

11月24日(金)に書店店頭に並ぶ予定です。

最新のPR・マスメディア情報を満載したデータ集であることから、マスコミへのアプローチに不可欠の一冊、“情報源バイブル”として、広報・PR、宣伝・販促、IR・CSRの担当者を中心に、幅広く活用されています。

さらに今回の「PR手帳2024年版」では、内容の一部を刷新し、ネットメディアに関する詳細な説明やオウンドメディアにおける運用のポイントなど、実務により役立つ内容を充実させ、最新データに更新しています。

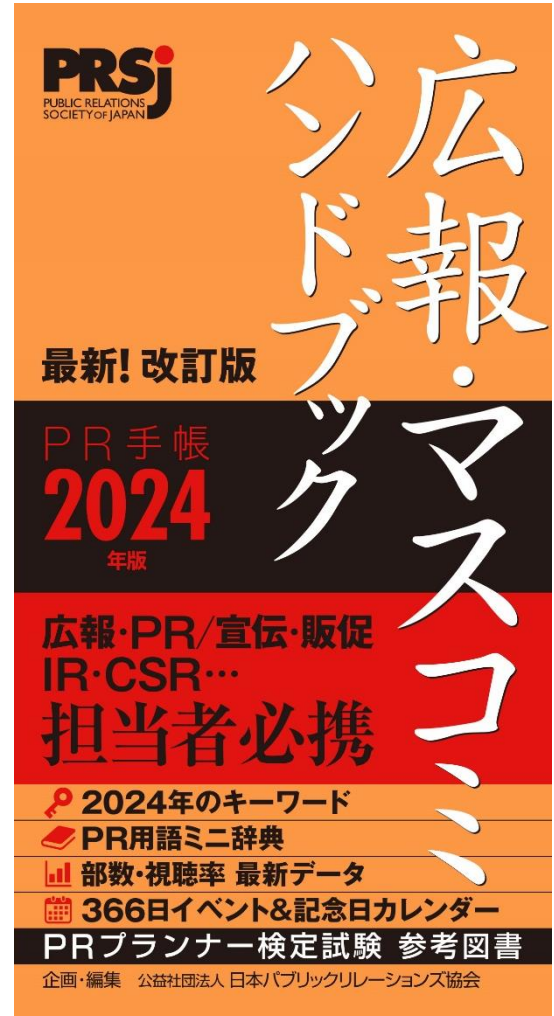
●主要コンテンツと掲載データ：

今を読み解くkeyword／知っておきたいFact data／「パブリックリレーションズ」の解説／広報・PR実務に役立つチェック&フロー（ネットメディアに関する解説を新たに追加）／部数・視聴率最新データ／PR・IR用語ミニ辞典／PR関連団体／企業の文化施設／主要メディア連絡先一覧／主要サイト一覧／記者クラブ／官公庁・各種団体／イベント会場／2024年記念日カレンダーなど

●価格：2,035円（1,850円＋税）

（正会員は1,120円（税込）表紙カバーはありません）

●販売：協会事務局、首都圏・大阪・名古屋等全国主要書店で広く販売されています。



事務局では随時注文を承っておりますので、お問い合わせください。

協賛広告のご出稿をいただきました会員会社各位には、この場をお借りしてお礼申し上げます。

PRプランナー資格認定制度／検定試験

第 35 回 1 次試験 12 月 1 日(金)から申込み開始

— 試験期間は、2 月 10 日(土)～25 日(日)まで —

資格委員会

2024 年度前期（第 35 回）1 次試験のお申込み受付を 12 月 1 日（金）より開始します。

第 35 回 1 次試験の試験期間は、2024 年 2 月 10 日（土）～2 月 25 日（日）の 16 日間で実施します。本 1 次試験は広報・PR に関する基本的な知識を問う出題となり、これまでに 15,373 名が受験し、11,421 名が合格しております。

ぜひ受験をご検討いただければ幸いです。

- 全国に開設されたテストセンターで、PC を使って受験していただきます
- 16 日間の試験期間で、ご都合のよい日時・会場を選択できます
- 受験料のお支払いはクレジットカード払い、コンビニ払い、Pay-easy（ネットバンキング）からお選びください（手数料は無料です）
- 今回は定員の制限なくお申込み可能ですが、ご希望の日時・会場が先約で埋まってしまう場合もありますので、お早めにお申込みください

【1 次試験 お申込みから合否通知までの流れ】



【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第 35 回 1 次試験 実施概要】

試験期間	2024 年 2 月 10 日（土）～2 月 25 日（日）
仮申込み期間	2023 年 12 月 1 日（金）正午～2023 年 1 月 26 日（金）23:59 まで ※PRプランナー資格制度 Web サイトでのお申込みとなります（本申込に必要な受験コードを取得）
本申込み期間	2023 年 12 月 1 日（金）正午～2024 年 2 月 2 日（金）23:59 まで ※CBTS Web サイトにユーザー登録後、同サイトでの本申込みとなります（受験日時・会場選択、受験料のお支払い）
合否発表	2024 年 3 月 6 日（水）正午
試験出題数／試験時間	50 問／80 分
合格基準	全出題数に対して正答率 70%以上で合格
対応公式テキスト	広報・PR概説（2023 年度版）

試験スケジュールにつきましては、変更する可能性もございますので、下記の PR プランナー資格制度 Web サイトでご確認くださいませう、お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



パブリックリレーションズ実務講座 2023**「PR集中テーマスタディ(第2回)」を11月下旬に開講
～「戦略的コーポレートコミュニケーションの新展開」～****教育委員会**

協会は、今期開講している「PR集中テーマスタディ」の第2回として、「戦略的コーポレートコミュニケーションの新展開」を11月下旬から開講します。

「PR集中テーマスタディ」は、PRパーソンに関心の高いテーマをとり上げ3人の講師にそれぞれ異なるポイントで解説いただくことを通じ、そのテーマに関するより深い理解を目的に開講する講座です。現在開講している第1回では「リスク・コミュニケーション」をとり上げ、続く第2回では「戦略的コーポレートコミュニケーションの新展開」をテーマに開講します。

市場における企業ブランドの浸透をはじめとして、企業はさまざまな目的のもとにステークホルダーとの関係性を深めるコミュニケーション活動を進めています。しかし、単にメディアにおける露出を増やしたり、コーポレートサイトやSNSで情報発信量を増大させることでは、その目的を十分に達成することはできません。重要なのは、経営戦略と密接に連動したコミュニケーション戦略のもとに短期から中長期にわたる計画を立案すること。そして予算や人的リソースなどの経営資源を効果的に投入した施策を実施し、適切な評価を重ねながらコミュニケーション活動を推進していくことです。いま広報部門にとって重要なのは、いかにこの戦略的コーポレートコミュニケーションを推進し企業価値の向上に貢献できるか、ということにほかなりません。

本講座では、企業コミュニケーションの現場に長年の経験を有し「コーポレートコミュニケーション」に知見の深い3人の講師をお迎えします。ご講演では、企業価値の向上をめざす戦略的コミュニケーションの基本的な考え方、そのためのプランニング、さらに情報発信の重要ツールであるコーポレートサイト構築のポイントなどについてご解説いただきます。

ますます重要性を高める戦略的なコーポレートコミュニケーションについて学ぶ本講座。企業でコミュニケーションにかかわる多くの方のみなさまの受講をお待ちします。

本講座の詳細及び聴講お申込みについては、11月下旬から協会Webサイトでご案内します。

■「PR集中テーマスタディ (第2回)」の概要

No	講座タイトル	講師
講座1	「企業価値向上のための戦略コミュニケーションとは？」	株式会社 はね 代表取締役社長 矢嶋 聡氏
講座2	「戦略的コーポレートサイトの構築～企業の存在価値をステークホルダーにどう伝えるか～」	株式会社クラウドワークス IR・PR室長 飯田真吾氏
講座3	「企業価値を伝え、高める広報戦略プランニングのキーポイント」	株式会社電通 PRコンサルティング 企業広報戦略研究所 上席研究員 坂本陽亮氏

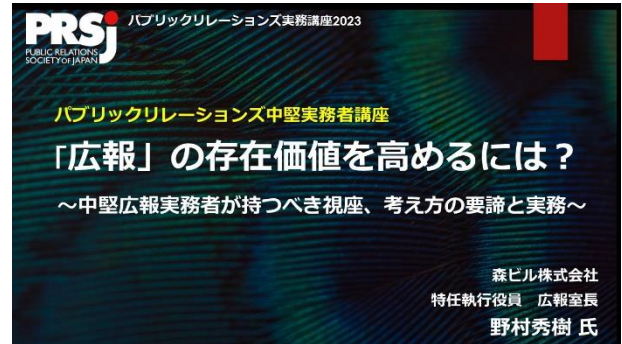
(事務局 真部)

パブリックリレーションズ実務講座 2023 「パブリックリレーションズ中堅実務者講座」 10月26日からオンデマンドで開講

教育委員会

協会では、本年7月21日に六本木アカデミーヒルズにて対面開講し好評を博したパブリックリレーションズ中堅実務者講座「『広報』の存在価値を高めるには? ~中堅広報実務者が持つべき視座、考え方の要諦と実務~」を10月26日からオンライン開講いたしました。

本講座は、同日会場にて講演を収録・編集し、繰返し視聴を行えるオンデマンド講座として公開したものです



多くの企業においてコミュニケーションの中心となる広報部門。記者発表、メディア取材、ニュースリリース作成などさまざまな業務で活気に満ちる毎日のなかで、現場の核となる中堅実務者は、さらに後輩の指導や他部門との調整など多忙な仕事に追われます。毎日の業務に追われ疲労を重ねるなかで、中堅実務者もいつの間にか惰性に流され、自身の役割や目標、そこに存在する意味を見失うかもしれません。

しかし中堅実務者は現場の主演。自部門や他部門の現状に通じ、交流のあるメディア関係者などとの関係を担い、さらに現場業務を計画し遂行するなど、広報現場の中心は上司ではなく中堅実務者です。その活躍を続けるために中堅実務者は、他部門、上司・部下・同僚、社外のメディア関係者など、協力すべき人々との関係を認識して自身の位置を見極め、なすべき役割を確認しながらいかに業務をリードしていくか、その気付きを得ておくことが重要です。



本講座は、一定の業務経験を有し広報の現場においてリーダーとして活躍する中堅実務者を対象とし、社内外の人々との関係性の持ち方や自身が果たすべき役割など、日々の業務を遂行するうえで要となるポイントを習得する機会を提供します。講師には、大手デベロッパー・不動産会社である森ビル株式会社で20数年にわたり一貫して広報畑を歩まれた特任執行役員 広報室長の野村秀樹氏をお招きしました。講座では野村氏に、会社における「広報」の位置付けや機能、価値、また広報の業務を戦略的に推進するポイントについて、広報パーソンとしての自身の体験を交えながらお話しいただきました。

広報の現場で業務の中心として活躍するみなさまの受講をお待ちします。講座の詳細及び聴講お申込みについては、下記の協会 Web サイト 講座案内ページをご覧ください。

<https://prsj.or.jp/event/middle2023-ondemand/>

(事務局 真部)

パブリックリレーションズ実務講座 2023

「PRプランナー3次試験対策講座」 11月下旬に新コンテンツを追加

教育委員会

協会は、PRプランナー3次試験の受験者を主な対象として通年開講している「PRプランナー3次試験対策講座」（以下、「3次対策講座」）に受験対策に役立つ新コンテンツを11月下旬に追加します。講座受講者は、受講料の追加支払いを行うことなく、現行の料金でご利用いただけます。

協会では、3次試験のCBT化にあわせ2021年に本講座の大幅な改訂を実施、以降、パソコンやスマホを使用して時と場所を選ばずフレキシブルに学べるオンデマンド講座として開講しています。

2021年の改訂時には、試験方式の解説と企画書作成の基本を学ぶ新講座「広報・PR計画立案の基本」を追加、また「ニュースリリースの作成」、「広報・PR計画の立案作成（コーポレート課題）」、「広報・PR計画の立案作成（マーケティング課題）」の3課題を学ぶ講座はそれぞれ2回にわたる講義と演習で構成され、3次試験の受験準備に役立つ効果的な対策として、多くの受験者に受講されてきました。

このたび受講者のニーズにより的確に対応することをめざして、「ニュースリリースの作成」「広報・PR計画の立案作成（コーポレート課題）」「広報・PR計画の立案作成（マーケティング課題）」に対応する3つのコンテンツを新講座として追加します。追加講座では、2023年7月に実施された第33回3次試験において実際に出題された試験問題を公開するとともに、その問題で合格、不合格の回答例を参照してその可否のポイントについて解説します。さらに両者を比較することを通じてその良否についても触れています。かねてより3次試験の答案については可否ポイントを知りたいとの要望も多く、その声に応え受験対策により役立つことをめざし新コンテンツの追加を行います。

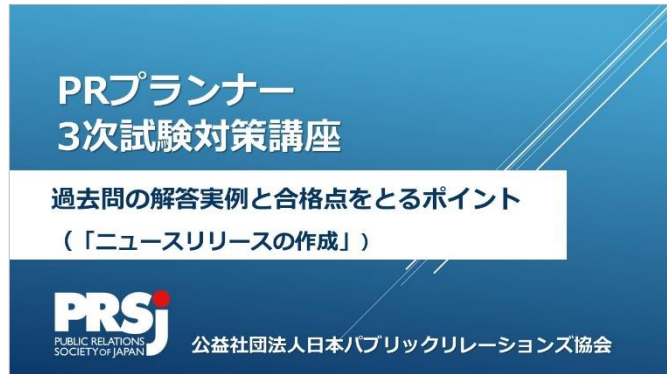
なお、講師は協会事務局長の青田浩治が担当。同氏は（株）電通パブリックリレーションズ（現在の（株）電通PRコンサルティング）に勤務時に3次対策講座「ニュースリリースの作成」の講師を担当しており、その経験と研究によりPRプランナー認定試験についての深い知見を有しています。今回の追加講座では、同氏が自身の知見をもとに試験問題を独自に分析し、試験対策として役立つよう解説を行うものです。

この秋、協会は3次講座を提供するシステムを改修いたしました。従来は受講受付から講座視聴を可能とする案内の送付まで数日を要していましたが、この改修によりお申込み後の即日受講が可能となりました。また、講座の視聴期間はシステムにより90日間に設定されるため、試験のスケジュールにあわせて受講いただくことができます。

本講座の詳細ならびにお申込みは、下記URLの講座ページをご参照ください。

<https://prsj.or.jp/event/3rd-examination/>

(事務局 真部)



PRSJ“ひとり広報”MEET UP

10月30日(月)開催レポート

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（PRSJ）は、“ひとり広報”の当事者と有識者が集まり、“ひとり広報”の現状と将来について語り合う MEET UP イベントを 2023 年 10 月 30 日（月）に開催いたしました。

先日協会より発表した「“ひとり広報”実態調査」のデータから現状を浮き彫りにし、当事者ご本人に体験を語っていただくとともに、“ひとり広報”をテーマとする書籍を出版している著者も交えたパネルディスカッション、さらには参加者同士の交流会を実施。会場とオンラインのハイブリッド開催で、非会員を含む 66 名に参加いただきました。

“ひとり広報”だけでなく、組織的に広報活動を行っているご担当者にとってもヒントが散りばめられていた当日のイベントの様様をレポートいたします。

■ 多様な“ひとり広報”の姿を、調査レポートと実例で共有



左からセコム竹内さんとリスト田尻さん

はじめに事務局長の青田浩治より、2023年2月に実施した「“ひとり広報”実態調査」レポートを元に解説。経営トップの広報の理解や広報予算、他部署との連携状況や、ひとり広報のメリット・デメリットを共有し、多様な“ひとり広報”の姿が浮き彫りになりました。（結果レポートの詳細は[こちら](#)からご覧ください）

続くプログラムでは「“ひとり広報”事例紹介」として、リスト（株）広報部次長の田尻有賀里さんと、セコム（株）コーポレート広報部担当課長の竹内昭彦さんがご登壇。田尻さんからは、ゲーム業界から不動産業界まで、ひとり広報として広報立ち上げを経験してきた実例を元に「少人数での広報機能

で成果を最大化するコツ」をテーマにお話いただきました。

広報で成果を出すためには社内からの情報収集や協力を得ることがとても重要です。そして、市民権を得るためには広報の目的をトップと握ること。そうすることでキーパーソンとの信頼関係が構築できるようになります。業種や規模に関わらずインナーコミュニケーションは共通して大切なことだと思いますね（田尻）

続いて竹内さんからは「実質ひとり広報だった担当者が PRSJ の正会員になるまで」をテーマに、セコム社にてどのように広報への学びに目覚め、PRSJ に出会ったのかというお話をいただきました。

前任だった広報のキーマン退職をきっかけに、必要に迫られて外部のセミナーや勉強会に参加し始めました。今までのやり方は正しいのか？と疑問を持ちながら、学んだ施策を実行して成果が出始めるとだんだん面白くなっていきましたね。念願叶って日本パブリックリレーションズ協会に入会しましたが、まだまだ勉強だと思っています（竹内）

■ これからの“ひとり広報”をどう展望するか



プレシャスパートナーズ北野さん

事例紹介を終えた後は、『人のつながりで成果を呼び込む！ひとり広報』著者である(株)プレシャスパートナーズ 執行役員 CMO の北野由佳理さんをスピーカーとしてお招きし、PRSJ 理事の渡邊香織がコーディネーターを務めるパネルディスカッションを実施。

調査結果でも表出していた“成果を数値化しにくい”という課題や、“経営 TOP への理解をどう促すか”という問いについて、各々の実体験に則した的確な回答をいただきました。

定量数を追うのであれば掲載数だけでなく、自身で目標達成が可能であるリリース数やメディア開拓数なども指標におけると良いですね。また、広報である前にいち社会人として評価される人材が大切で、数字とロイヤリティのどちらを重視するのか、どちらも重要なかなど評価の軸をきちんと把握しておくことも重要だと思います（北野）

さらに渡邊さんから“ネットワークづくりで意識していること”を問いかけると、竹内さん、田尻さんからは、コミュニティや繋がりたい人への地道なコンタクト活動について自身の経験談を語っていただきました。

それに対して北野さんからも「広報の横のつながりは大事だけど、企業対企業で築く関係であるということをお忘れなでほしい。つながりは会社の資産なので“くれくれ”君になってはいけない」とネットワークづくりの注意点をアドバイスいただきました。

最後にキャリア観や今後の展望をそれぞれ語り「一緒に広報の価値を高めていきましょう！」という力強い共通のメッセージでパネルディスカッションを締め括りました。

■ “ひとり広報”を考えることは、広報の原点を再考すること



PRSJ 本田哲也理事

全てのプログラムを終えたあと締め言葉として、海外よりオンライン参加していた PRSJ 理事の本田哲也さんより締めの言葉をいただきました。

“ひとり広報”を考えることは、実は広報・PRの原点を再考することにつながりますね。ひとりだからこそ、経営者と併走し、いかに「みんな」を巻き込むかを考える。パブリックリレーションズの基本に立ち返るべき示唆がありました。これからも広報というバリューチェーンが広がっていくと思うので、引き続きこのテーマは追っていければと思います（本田）

リアル参加の方々は、会場協力をいただいた近畿大学東京センターのスペースをお借りして、交流プログラムも実施。“ひとり広報”の方々にとっても、組織的な広報活動を行っている担当者にとっても、良い出会いと気づきを得られる場となったのではないかと思います。

日本パブリックリレーションズ協会（PRSJ）では、今後も“ひとり広報”の皆さまに有益な情報提供や意見交換の場となるような企画やイベントを検討して参ります。

文責：久保 圭太（株式会社 PR Table）

■ 会員限定**第 29 回広報活動研究会(10 月6日)開催報告
「近畿大学 東大阪キャンパス見学会」****企業部会**

企業部会では、会員企業の広報活動（機能、組織、運営体制など）を実際のケーススタディを通して知り、広報・文化施設等によるコーポレートコミュニケーション、ブランディングを体験していただくことを目的に「広報活動研究会」を開催しています。

第 29 回目となる今回は、「広報ファースト」を掲げ、広報力を生かして大学の進化やブランディングを進めてこられた学校法人 近畿大学の取り組みを、同校 東大阪キャンパスを訪問してお伺いしました。また今回は、企業部会と関西部会の初の合同開催企画（主催：企業部会、共催：関西部会、協力：近畿大学）として、10 月 6 日（金）の午後、会員と事務局合計 37 名が参加して開催されました。

**第 50 回「PRスキル研究会」開催レポート
「人事と広報の課題を解決する PR プランニング」****PR 業部会**

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（PRSJ）では、PR 業に携わる方の PR 業務ならびにコミュニケーションスキルの向上を目的とし、“明日の仕事から使える知識を身につける”をコンセプトに「PRスキル研究会」を年に 3~4 回開催しています。幅広い業界から講師をお招きし、研修だけでなく意見交換の場としても活用できると、毎回好評を博しています。

第 50 回「PRスキル研究会」は、「人事と広報の課題を解決する PR プランニング」をテーマに、2023 年 11 月 8 日（水）にオンライン形式で開催。株式会社 PR Table の大堀 航氏と、株式会社オズマピーアール濱地 徹氏をゲストにお迎えし、モデレーターは株式会社 PR Table の久保圭太氏が務め、2 部構成で会を行いました。

台湾PR協会が PRSJ を訪問～情報交換と交流を実施

日時:2023年10月26日(水)13:00～14:30

会場:「霞会館」(六本木)

国際・交流委員会

台湾PR協会(TIPRA)の黎榮章理事長以下26名が去る10月26日に来日。当協会と情報交換および懇親の場を持ちました。これはTIPRA会員のベクトル台湾さんが間を取り持ってください実現したものです。当協会からは牧口理事長、渡邊常務理事、青田事務局長が対応しました。

霞会館で行われた情報交換会では、双方が組織や活動内容を説明。TIPRAはPRやマーケティングなどのエージェンシーが会員であり、顧客や同業者との取引において、最善の商業規範と基準に準拠することを促進するために、政府や大学・学術機関とも連携してコンクール、フォーラム、交流会を実施しているとのこと。なかでも興味深かったのは、「PRテクノロジーマップ」と称してPR活動領域別にエージェンシーやツールを分類、図式化した資料。

会員社の商機づくりに直接寄与するもので、エージェンシーによる協会ならではの取り組みと思われました。

当協会の活動の中でTIPRA参加者から最も関心を持たれたのは「PRプランナー資格制度」で、数多くの質問をいただきました。

翌27日には赤坂で懇親会が開かれましたが、TIPRAメンバーのエネルギッシュな飲みっぷりに圧倒されっぱなしの夜となりました(笑)。今後のさらなる交流に期待、です。

文責:青田浩治(事務局長)



■ 正会員・個人会員限定

第227回定例研究会

**デジタル時代における「日テレ」の経済報道
～「日テレ」経済部がめざすこれからのネット活用とは？～**

講 師: 日本テレビ放送網株式会社 報道経済部
担当部次長・解説委員
大野 伸 氏

第 227 回定例研究会は、9 月 15 日（金）開催しました。講師は日本テレビ放送網株式会社 報道経済部 担当部次長・解説委員 大野 伸氏。テーマは「デジタル時代における「日テレ」の経済報道～「日テレ」経済部がめざすこれからのネット活用とは？～」でした。

協会掲載記事

● 10月1日（日） 『広報会議』11月号 （株式会社宣伝会議）

『広報会議』11月号における連載コラムで、当協会が実施する「PRアワードグランプリ 2023」エントリー受付の開始について記事掲載されました。

コラムでは、最近のPRへの関心の高まりと期待に触れ、それを背景に実施される今年度の「PRアワードグランプリ」受付スケジュール、エントリー条件や審査のポイントなどが紹介されています。

● 11月1日（水） 『広報会議』12月号 （株式会社宣伝会議）

『広報会議』12月号における連載コラムでは、2023年3月に実施されたPRプランナー3次試験合格者のインタビューが紹介されました。

インタビューでは、この合格者がパブリックリレーションズの仕事に就いた経緯、PRプランナー試験の勉強方法と成果、試験を通して得られたパブリックリレーションズの役割や重要性への気づきなどについて率直な感想が語られています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]



事務局の青田です。

ここ数日で一気に寒くなりましたね。でも PRSJ は熱く盛り上がっていますよ！
ということで、今月のトピックスを以下に。

■ やってよかった。「PRSJ ひとり広報 MEET UP」は大盛り上がり！

10月30日開催の「PRSJ ひとり広報 MEET UP」は、今後につながるヒントが満載の会となりました。特に、会場参加のみなさんによるリアル交流会では、ひとり広報同士の名刺交換・懇親もさることながら、参加した協会理事のみなさんとの会話は、さながら業務に関する“相談会”の様相に。熱心に質問するひとり広報のみなさんに真摯に回答するベテラン広報のみなさんの姿に、これぞ当協会の存在価値だとあらためて思い知りました。協会横断プロジェクトとなっている「ひとり広報」の今後の展開をご期待ください。

■ 台湾PR協会来日。エネルギーに圧倒されました（笑）

計26名の大旅行団をお迎えし、霞会館で双方のプレゼンテーションを行いました（詳細は今号のレポート参照）。翌日夜の懇親会で私は TIPRA の黎理事長の向かいの席でしたが、下手すると一晩に一升飲むという理事長の周りに、入れ代わり立ち代わり参加者がやってきては乾杯（文字通り、一気に飲み干す！！）の嵐となり、その都度付き合わされた私は、よくぞ最後まで持ちこたえたと自分で自分を褒めたいと思います（泣）。

今後の交流が思いやられます・・・（笑）。

■ 高知から高校生5人が来てくれました！修学旅行で「PRを学びたい」（ウレシイ！！）

11月15日（水）10時～12時、高知商業高校2年の男女5人の生徒さんが事務局にお越しになり、「観光PR」の学習をしました。なんと、修学旅行の正式プログラム（グループ学習）で、滞在中にPR会社ほか4か所を回るとのこと。こちらは渡邊常務理事と青田が対応し、PRアワードの受賞プロジェクトの中から、地域振興・観光に関連したものを事例として6件紹介。さらに実際に「高知の観光PR」をディスカッションしました。途中で合流した引率の先生の「熱意が大事！」との一言には、思わず「そのとおりですっ」と合意の手を。最後にPRプランナー試験のテキストをプレゼントしたところ、先生から「みんな試験を受けるのよ！」の号令が。

この5人と次に会うのがホントに楽しみです。

（事務局長 青田）

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・希望をお寄せください。

中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

広報委員会

Eメール mail@prsj.or.jp

※禁転載

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

関西支部 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-1-27 桜橋千代田ビル 3F

12/1 から新住所：〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-12-12 東京建物梅田ビル 12F